

私が介護という仕事に携わる前の介護に対するイメージは、「きつい」「汚い」「給料が安い」のいわゆる3Kと呼ばれるものでした。

そんな介護に対する私のマイナスイメージを払拭したのが「笑顔」でした。

ボランティアを通じて初めて利用者の方と関わり、そこで会話やコミュニケーションを通して様々なことを教えて頂きました。

人生での経験、大切なこと、非常にためになるお話をたくさんして下さいました。

そして介助の中で「ありがとう」と笑顔で言われ、そのたった一言に救われました。

仕事をするようになり、確かに「辛いこと」もあれば「嫌なこと」もあります。ですが、仕事にはどれも辛いことや嫌なことはつきものだと思いますし、人と関わる仕事で人から元気や笑顔をもらえるという魅力は本当に素晴らしいと思いました。

そして、介護という仕事は何よりチームプレーを重視しており、チームで情報などを共有し、看護師、リハビリ職といった他の職種との連携により、利用者様の生活を支えていく。

チームで一つのケアを行っていくということは、信頼関係や良好な関係がないと築いていけません。

笑寿苑に入り私はまだ一年も経っていませんが、たくさんの人に優しくされたり、声をかけて頂いたり、時にはイジってもらったりと大変嬉しく思います。辛いことも一人で背負いこむのではなく、先輩や同僚と話したり、といった関係が築いていける職場に本当に素晴らしさを感じました。何より毎日、笑顔でいれるのはそういった職員や利用者様の小さな優しさからです。

もらった優しさを少しでも私から返していけるように、全力で今の仕事に取り組みたいと思いました。そして、介護に対するマイナスイメージである3K労働を自ら払拭していけるような施設づくりをチームでやっていきたいと感じました。